

<GTEC>通信

「TANABU Model」で4技能の確実な定着を図り 英語コミュニケーション能力や論理的思考力を育む

青森県立田名部高等学校

1917（大正6）年、町立田名部女子実業補習学校として開校。改称や統合を経て、1949（昭和24）年、現校名となった。校訓に「自律・協和・純正」、教育目標に「全人的な人間教育の実現」を掲げる。1995（平成7）年に英語科を設置するなど、かねて英語教育に力を入れており、2013年度には文部科学省「英語によるコミュニケーション能力・論理的思考力を強化する指導改善の取組」拠点校の指定を受けた。各教科でのアクティブ・ラーニングや課題探究型学習の実践も推進している。

基本情報：公立、共学、普通科・英語科

規模：1学年200名

主な進路実績：国公立大は、弘前大、岩手大、山形大、福島大、埼玉大をはじめ81名（2018年度入試）



取り組みのポイント

- 教科書をベースにコミュニケーション活動中心の授業を構成。
- 教科書のレッスンごとに軽重の差をつけ、4パターンのプログラムを作成。
- 「GTEC」を活用して英語コミュニケーション能力の伸びを確認し、授業改善に結びつける。

取り組みの背景

青森県立田名部高等学校は、下北地方を代表する進学校の1つとして100余年の歴史を持つ。近年は地域の人口減少や少子化が急速に進み、生徒数が減る一方で、生徒の学力層の幅が広がるといった課題を抱えながら、地域活性化の支えとなるべく様々な教育改革に取り組んでいる。

中でも力を注ぐのが、英語教育の充実だ。現行の学習指導要領が導入された2013年度、文部科学省「英語によるコミュニケーション能力・論理的思考力を強化する指導改善の取組」拠点校の指定を受けたのを機に、4技能を統合的に伸ばす指導を推進している。取り組みを主導した堤孝先生は、当時の課題意識を次のように振り返る。

「従来は訳読や文法指導が中心でしたが、そうした指導では、英語を使ったコミュニケーション能力は十分に育っておらず、英語が好きになれる生徒も少ない状況でした。教師は『授業を変えなくてはならない』と焦りを感じながらも、どこから着手すればよいか分らず、一步を踏み出せずにいました。そこで、拠点校の指定を好機と捉え、英語の授業を根底から見直しました」

コミュニケーション活動主体の オールイングリッシュの授業を展開

同事業では、コミュニケーション活動を主体としたオールイングリッシュによる授業を通して、「コミュニケーション能力」「論理的思考力」の2つの能力を強化することが求められた。そのためにはまず、教師の意識を大きく変える必要があった。

「授業は教師主体ではなく、あくまでも生徒主体の活動で構成する方針を共有しました。同時に、生徒のコミュニケーションや思考を促すための働きかけを検討し、それを英語で行うようにしました」（堤先生）

最初は試行錯誤の連続であり、活動を盛り込み過ぎて授業の進度が遅れがちになるといった課題が見られた。そこで、活動を精選するとともに、レッスンごとに軽重をつけて4パターンの基本形を構成し、それを「TANABU Model」と名づけた（資料1）。

どのパターンの授業でも、生徒はペアやグループでインプットやアウトプットを繰り返し、4技能を高めていく。さらに「パターンA」「パターンB」では、最後に目標となるアウトプット活動を設定し、定着の強化を図る。

「教科書の内容を理解するだけでは、英語力はなかなか身につけません。アウトプット活動を通して、自分の考えや思いを発信しようと必死に思考することで、しっかりと定着すると考えています」（堤先生）

「パターンA」は最後にパフォーマンステストを行うプログラムであり、教科書の1レッスンを15時間で構成する。最も多くの時間数を要するため、年間2回程度の実施となる。パフォーマンステストの内容は、1年次がロールプレイ、2年次がディベート、3年次がディスカッションであり、学年が上がるにつれて即興的なコミュニケーション能力や思考力が問われるものとなる。

4パターンのうち最も多く実施するのは、教科書の1レッスンを12時間で構成する「パターンB」だ。このプログラムでは様々な活動を通して知識や技能を高め、最後に「ストーリーリプロダクション（STORY REPRODUCTION）」で定着を図る。一方、「パターンC」はリスニング力、「パターンD」は読解力に特化したプログラムだ。

教科書の内容をベースとした 多様な活動で授業を構成

「TANABU Model」ではどのような活動を通して4技能を伸ばしていくのか、「パターンB」の具

体的な内容を通して見ていく。

「パターンB」は、次の3時間を4セクション行い、計12時間で構成される。授業は全て学年共通のワークシートで進行する。

【1時間目】

◎「PARAGRAPH CHART」（資料2）

教科書を参照してプリントの空欄に適切な語句を記入する。辞書は使わず、初見で大まかな文意を理解する力を養う。

各自で取り組んだ後、ペアで用紙を見ずに口頭で確認し合い、その後、クラス全体で確認する。

◎「SUMMARY」（資料3）

セクションを100字以内の日本語でまとめる。辞書は使わず、理解できた情報をもとにストーリーを推測する力を伸ばす。その後、4人グループで発表し合い、学び合いを促す。

早く終わった生徒から、分からない表現を抜き出す活動を行う（資料4）。次の活動「COMPREHENSION」まで辞書は引かせない。

◎「COMPREHENSION」（資料5）

ワークシートの問題に取り組み、内容理解を確認する。最初に個人で取り組み、ペアで口頭による確認を行う。その後、指名されたペアが問題と答えを板書し、別のペアが添削して、クラス全体で答えを確認し合う。

【2時間目】

◎「VOCABULARY SCANNING」（資料6）

ワークシートに書かれた日本語と語数に該当する英語の語句を教科書のテキストから抜き出す。できるだけ早く解答するよう促し、英文を速読しながら英語を処理する力の向上を図る。

生徒同士やクラス全体で声に出して確認した後、ペアで日本語→英語、英語→日本語の練習をして定着を図る。

◎「READING PRACTICE」（資料7）

右側に日本語、左側に英語が書かれたシートを用い、ペアを中心に多種多様な音読練習を行い、英語の構造や文法、また音声とその意味を結びつけるインテイクを図る。音読の種類は、コーラスリーディング、リピーティング、バックトゥバック（2人が背中を付けて逆を向き、交互に大きな声で読む）、サイトトランスレーション、シャドーイング、同時通訳、クレイジーリーディング（最速で読んだり、声色を変えたり緩急を付けて読んだりする）など。

取り組みの詳細

【3時間目】

◎「DICTATION」(資料8)

CDで音声を2回流し、ワークシートの空欄を埋め、英語の構造や文法、語彙の定着を図る。

◎「STORY REPRODUCTION」(資料9)

所与の10個のキーワードを使い、セクションの内容を再生するアウトプット活動。口頭で内容を再生(個人で1回)→口頭で内容を再生(ペアで3回)→英文を書いて内容を再生(個人で10分)→教科書を読んで各自で添削→教師の添削、という順に学習を深めていく。

「TANABU Model」の導入と同時に、「CAN-DOリスト」も見直した。4技能別に学期ごとの学習到達目標を設定し、パフォーマンステストと連動させて評価する内容に改めた(資料10)。

生徒には年度当初にCAN-DOリストを提示し、学期ごとに5段階で自己評価をさせるなどし、身に付けたい技能を具体的にイメージさせる。

取り組みの成果と今後に向けて

「TANABU Model」の実践は、拠点校の指定を終えた後も継続しており、2018年度に6年目を迎えた。取り組みが深まるにつれ、教師たちは様々な面で生徒の変化を感じている。

その1つが、英語を使ったコミュニケーションに対する姿勢が非常に前向きになったことだ。2学年担任の相馬唯成先生は、こう述べる。

「英語を読んだり聞いたりした時に分からないことがあっても、自分なりに推測して理解しようとしたり、知っている単語や表現を使って必死に伝えたりしようします。その過程でコミュニケーションの感覚が育ち、知識や技能の定着も進んでいます」

そうした学びを通し、英語コミュニケーションの技能がしっかりと育っていることは、効果測定として活用している「GTEC」の結果にも表れている(スピーキング以外の3技能)。「TANABU Model」の授業を初めて受けた学年は、3年間のスコアの伸びが全国平均のほぼ2倍であり、全国3位となった。その後の学年も同程度か、それ以上の伸びを示している。

授業以外の場面でも生徒の変化を感じていると、大釜賢子先生は話す。

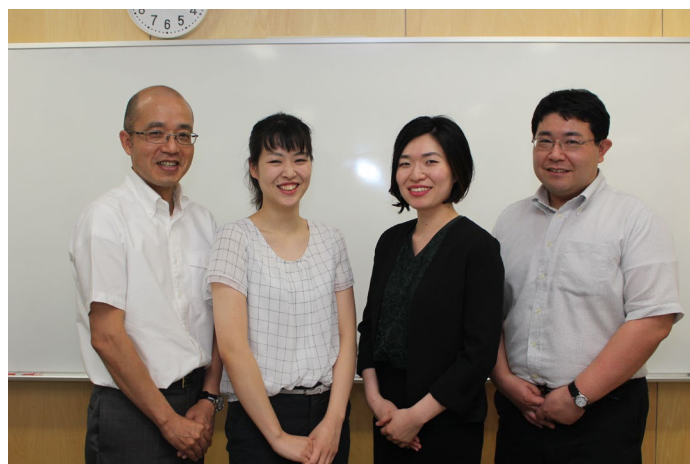
「『総合的な学習の時間』における探究活動でも、生徒たちは協働学習をスムーズに行っています。英語の授業で学び合いや自己表現活動を充実させているからでしょう」

「TANABU Model」は、ワークシートの再考など、毎年のように改訂してきた。2018年度の1年生は次期学習指導要領を見据え、これまで以上に中学校の復習に力を入れている。1学年担任の中田洋平先生は、こう述べる。

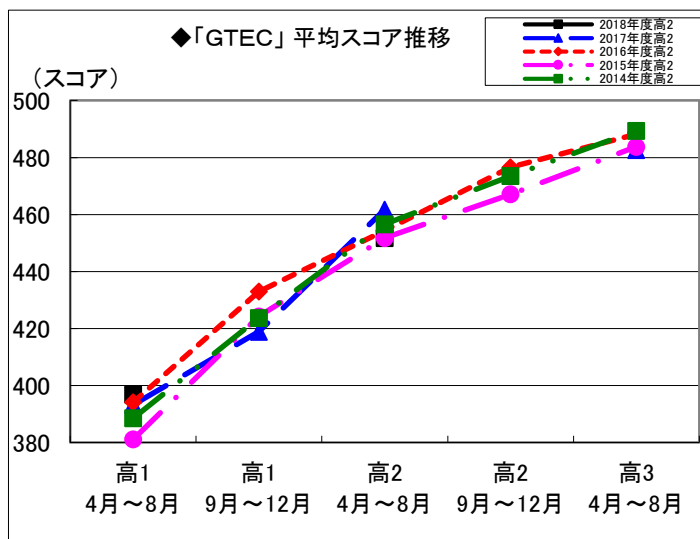
「大学入試改革などを考えると、できるだけ早く4技能の力を伸ばし、英語の資格・検定試験を受けさせたいと考えています。その土台となる中学校の学習内容の基礎を固め、その内容を用いて自己表現活動を繰り返し、定着を図っています」

同校はこれまでの成果に慢心せず、取り組みを進化させている。

「どうすれば目の前の生徒の4技能の力をもっと伸ばせるのかを考えて『TANABU Model』を改善し、振り返ったら原形をとどめていないというのが理想です」(堤先生)



(左から堤孝先生、相馬唯成先生、大釜賢子先生、中田洋平先生)



【資料1】「TANABU Model」の4パターン

パターン名 【コース名】	授業の流れ	時間数 / Lesson
パターンA 【超こってり】15時間 “パフォーマンス”	概要把握→詳細理解→語彙&表現定着活動→様々な音読活動 →“パフォーマンス”テスト(1年ロールプレイ・2年ディベ ート・3年ディスカッション)	15時間
パターンB 【こってり】12時間 “リプロダクション”	概要把握→詳細理解→語彙&表現定着活動→様々な音読活動 →ディクテーション→ストーリー“リプロダクション”	12時間
パターンC 【あっさり】4時間 “リスニング”	“リスニング”による概要把握→語彙&表現定着活動	4時間
パターンD 【超あっさり】2時間 “読解力”	“読解力”診断テスト→語彙&表現定着活動	2時間

【資料2】「PARAGRAPH CHART」のワークシート

1 Paragraph chart (No Dictionary!) Read the passage and fill in the blanks.

Michelle from France

Michelle was very surprised because Japanese students wear school uniforms.

↓一方

In France, students' own () are very important.

In France students () () () their clothes.

↓ミシェルは日本で生活している留学生であり

When Michelle is in uniform, she is really () () () her school.

↓ミシェルが制服を着て楽なのは

Also, Michelle does not have to () () () every morning.

Michelle () () have to buy fashionable clothes for school.

↓つまり

Uniforms have () good points () bad points.

【資料3】「SUMMARY」のワークシート

2 Summary sheet (No Dictionary!)

Summarize the passage within 100 Japanese characters.

[illegible]

【資料4】 辞書調べのワークシート

3 Look up the words you don't know in your dictionary and write the meaning of them in Japanese. You are not allowed to choose more than **7 expressions**.

[illegible]

【資料5】「COMPREHENSION」のワークシート

- 4** (1) Circle the subject and underline the verb of each question.
 (2) Read the text and underline the parts which include the answer to each question.

1. What was a big surprise to Michelle?

2. What are very important in France?

3. What do French students express themselves through?

4. What does Michelle feel when Michelle is in uniform?

【資料6】「VOCABULARY SCANNING」のワークシート

5 Vocabulary scanning sheet

Read the passage as fast as possible and pick up the English words.

語句	単語数	意味
	3 語	多くの
	3 語	学校の制服を着ている
	2 語	フランスでは
	5 語	それは大きな驚きでした
	3 語	私たち自身の選択
	3 語	とても重要である
	4 語	自分のお気に入りの服を着る
	4 語	フランスの生徒は自分自身を表現する
	3 語	自分の服を通して
	5 語	私が制服を着た時は
	4 語	私はまさに～のようである
	6 語	私は本当に～の一員である
	7 語	私は服を選ぶ必要がない
	5 語	学校のために流行の服を買う
	6 語	いい点と悪い点の両方

【資料7】「READING PRACTICE」のワークシート

6 Reading practice sheet	
LESSON 1 PART 1	
English	Japanese
Michelle from France //	フランスから来たミシェル
A lot of Japanese high school students /	多くの日本人高校生は
() school uniforms. //	学校の制服を着ています
That () a big surprise. //	それは大変な驚きでした
In France, /	フランスでは
our own choices () very important. //	自分たち自身の選択がとても重要です
High school students wear their favorite clothes. //	高校生は自分のお気に入りの服を着ます
French students express themselves /	フランスの生徒は自分自身を表現します
through their clothes. //	衣服を通して
In Japan, /	日本で
when I () in uniform, /	制服を着ているとき
I am just like my classmates. //	私はクラスメートと同じに見えます
I am really a member of my school. //	私は本当に学校の一員なのです
Also, /	また
I don't have to choose my clothes /	服を選ぶ必要はありません
every morning. //	毎朝
I don't have to buy fashionable clothes /	流行の服を買う必要はありません
for school. //	学校のために
Uniforms () both good points /	制服にはよい点もあります
and bad points. //	悪い点も

【資料8】「DICTATION」のワークシート

7 Dictation sheet

Michelle from France

A lot of Japanese high school students wear school (). That was a big (). In France, our own () are very important. High school students wear their () clothes. French students () themselves through their clothes.

In Japan, when I am in uniform, I am just like my (). I am really a member of my school. Also, I don't have to () my clothes every morning. I don't have to buy () clothes for school. Uniforms have both () points and () points.

7

8 Story reproduction sheet

1. Use 10 keywords below and reproduce the story by yourself (Orally!).

- | | | |
|----------------------------------|------------|----------------|
| 1. Japanese high school students | 2. France | 3. choices |
| 4. favorite clothes | 5. express | 6. Japan |
| 7. in uniform | 8. member | 9. fashionable |
| 10. both | | |

2. Reproduce the story in pairs. (Orally × 3)

3. Write down the story you produced in 10 minutes.

The number of the words that I wrote is ().

Circle the keywords and count the number of them ().

A=more than 60 words

B=more than 40 words

C=less than 40 words

4. Highlight the expression that you are not sure of.

卒業時の学習到達目標

英語を「話す・書く・聞く・読む」という4技能を駆使して、話し手や書き手の伝えたいことを的確に理解するとともに、自分が伝えたいことを積極的に発信することができる

学年	話すこと			書くこと			聞くこと			読むこと		
	学習到達目標	科目・評価	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	科目・評価
3年	③聞いた・読んだ・書いたことに対して、1分間の準備時間内でkeywordsを書き出し、自分の意見を述べることができる	③C英Ⅲ／英理 授業	③英表Ⅱ／英表 授業、定期検査	③段落構成を意識して、複数のパラグラフを書くことができる	③英表Ⅱ／英表 授業、定期検査	③C英Ⅲ／英理 授業、定期検査	③1分あたり150語程度の英語を聞き、要点を80語以上の英語でまとめることができる	③C英Ⅲ／英理 授業、定期検査	③C英Ⅲ／英理 授業、定期検査	③毎分130語の速度で長文を読み、要点を80語以上の英語でまとめることができる	③C英Ⅲ／英理 授業、定期検査	③C英Ⅲ／英理 授業、定期検査
	②1つの主題について、資料を活用して確信に説明することができる	②C英Ⅲ／英理 アクティビティ① ディスカッション②	②英表Ⅱ／英表 定期検査	②段落構成を意識して、複数のパラグラフを書くことができる	②英表Ⅱ／英表 定期検査	②C英Ⅲ／英理 授業、定期検査	②1分あたり150語程度の英語を聞き、要点を60語以上の英語でまとめることができる	②C英Ⅲ／英理 授業、定期検査	②C英Ⅲ／英理 授業、定期検査	②毎分100語の速度で長文を読み、要点を60語以上の英語でまとめることができる	②C英Ⅲ／英理 授業、定期検査	②C英Ⅲ／英理 授業、定期検査
	①1つの主題について、ディスカッションの司会や、パネリストとして意見を述べることができる	①C英Ⅲ／英理 ディスカッション①	①英表Ⅱ／英表 定期検査	①段落構成を意識して、複数のパラグラフを書くことができる	①英表Ⅱ／英表 定期検査	①C英Ⅲ／英理 授業、定期検査	①1分あたり150語程度の英語を聞き、要点を40語以上の英語でまとめることができる	①C英Ⅲ／英理 授業、定期検査	①C英Ⅲ／英理 授業、定期検査	③500～600語の英文を読み、要点を60語以上の英語でまとめることができる	③C英Ⅲ／英理 授業、定期検査	③C英Ⅲ／英理 授業、定期検査
2年	③1つの主題について、相手の意見や考えに反する意見を述べることができる	③C英Ⅱ／総英 ディスカッション②	③英表Ⅱ／英表 授業、定期検査	③段落構成を意識して、複数のパラグラフを書くことができる	③英表Ⅱ／英表 授業、定期検査	③C英Ⅱ／総英 授業、定期検査	③1分あたり150語程度の英語を聞き、要点を30語以上の英語でまとめることができる	③C英Ⅱ／総英 授業、定期検査	③C英Ⅱ／総英 授業、定期検査	③500～600語の英文を読み、要点を50語以上の英語でまとめることができる	③C英Ⅱ／総英 授業、定期検査	③C英Ⅱ／総英 授業、定期検査
	②1つの主題について、相手の意見や考えを、繰り返し返すことで、自分の意見を述べることができる	②C英Ⅱ／総英 ディスカッション①	②英表Ⅱ／英表 定期検査	②賛成と反対の観点から、1つのパラグラフを書くことができる	②英表Ⅱ／英表 定期検査	②C英Ⅱ／総英 授業、定期検査	②1分あたり150語程度の英語を聞き、keywordsを抜き出し、要点を日本語でまとめることができる	②C英Ⅱ／総英 授業、定期検査	②C英Ⅱ／総英 授業、定期検査	②500～600語の英文を読み、要点を日本語でまとめることができる	②C英Ⅱ／総英 授業、定期検査	②C英Ⅱ／総英 授業、定期検査
	①1つの主題について、賛成と反対の両方の立場から、メモを参考に意見を述べることができる	①C英Ⅱ／総英 授業	①英表Ⅱ／英表 定期検査	①論理的構成を意識して、1つのパラグラフを書くことができる	①英表Ⅱ／英表 定期検査	①C英Ⅱ／総英 授業、定期検査	①1分あたり150語程度の英語を聞き、要点をkeywordsでメモすることができる	①C英Ⅱ／総英 授業、定期検査	①C英Ⅱ／総英 授業、定期検査	①500語～600語の英文を読み、トピックセンテンスを抜き出すことができる	①C英Ⅱ／総英 授業、定期検査	①C英Ⅱ／総英 授業、定期検査
1年	③聞いた・読んだ・書いた内容について、自分の言葉で再現できる	③C英Ⅰ／総英 授業	③英表Ⅰ／英表 授業、定期検査	③身近な事柄についての自分の意見や考えを80語程度で書くことができる	③英表Ⅰ／英表 授業、定期検査	③C英Ⅰ／総英 授業、定期検査	③1分あたり150語程度の英語を聞き、要点をkeywordsでメモすることができる	③C英Ⅰ／総英 授業、定期検査	③C英Ⅰ／総英 授業、定期検査	③500語～600語の英文を読み、要点をkeywordsで抜き出すことができる	③C英Ⅰ／総英 授業	③C英Ⅰ／総英 授業
	②司会者または登場人物として、原稿を見ずに意見の交換ができる	②C英Ⅰ／総英 ロールプレイ①	②英表Ⅰ／英表 定期検査	②身近な事柄についての自分の意見や考えを60語程度で書くことができる	②英表Ⅰ／英表 定期検査	②C英Ⅰ／総英 授業、定期検査	②1分あたり150語程度の英語を聞き、パラグラフチャートを作成することができる	②C英Ⅰ／総英 授業、定期検査	②C英Ⅰ／総英 授業、定期検査	②500～600語の英文を読み、各段落の主題を把握することができる	②C英Ⅰ／総英 新学力診断テスト	②C英Ⅰ／総英 新学力診断テスト
	①1つの主題について、いい点と悪い点を話すことができる	①C英Ⅰ／総英 授業	①英表Ⅰ／英表 定期検査	①身近な事柄についての自分の意見や考えを50語程度で書くことができる	①英表Ⅰ／英表 定期検査	①C英Ⅰ／総英 授業、定期検査	①基本的な数値英語を理解し、教師の指示通りに動くことができる	①C英Ⅰ／総英 授業、定期検査	①C英Ⅰ／総英 授業、定期検査	①1つの英文を、センテンスグループを考えながら音読することができる	①英表Ⅰ／英表 授業	①英表Ⅰ／英表 授業

※①＝1学期 ②＝2学期 ③＝3学期